

あの質問はどうなった!! ふるさと寄付金と4年間の総括結果

ふるさと納税寄付金その後どうなった

ふるさと納税寄付金その後どうなった			寄付金の推移	
26年9月 定例会	一般質問 後藤征昭議員	平成20年に導入されたふるさと納税。 自主財源の確保や村の魅力発信のため、1～3割を特典とし、積極的に取り組んでは。	平成25年度 105万円	25年度
	総務課長 村長	寄付金の1割程度の南阿蘇の特産品を返礼品としている。 PR等、先進地のやり方を勉強するべきだ。	平成26年度 237万円	26年度
27年6月 定例会	一般質問 桐原純男議員	平成27年度から、減税対象の上限が2倍になった。積極的に活用すれば、税込以上の寄付金確保も可能だ。本村もあか牛等、素晴らしい特産品がある。返礼品を40%くらいにして成功事例を参考に進めてはどうか。	平成27年 4月～9月 101万円	27年4月～9月
	村長	非常に大きな寄付を受けている自治体もある。地方交付税にも影響はないとのことなので、先進地を研修し積極的に努力していきたい。		
27年9月 定例会	合同常任委員会 丸野健一郎議員	ふるさと寄付金歳入予算2000万円。返礼品900万円の根拠を質問。返礼品40%で800万円、郵送料100万円。委託業者は、株さとふるとの説明があり、議決される。		
27年10月	株さとふるに 寄付金業務委託開始	返礼品を約40%に引き上げ、あか牛その他、村の特産品を贈るように開始。委託業者は株さとふる。手数料は寄付金の12%でスタートする。 収入は、一般会計ふるさと寄付金で計上。	平成27年10月 ～平成28年3月 3325万円	27年10月～28年3月
28年3月 定例会	予算議決	ふるさと寄付金歳入予算2000万円、返礼品900万円議決	平成27年度 総額 3426万円	
28年4月	熊本地震発災	震度6強の大地震にみまわれ、南阿蘇村は甚大な被害をうけ、将来の財政運営にも不安が広がる。	平成28年 4月～12月 4億8609万円 沢山の皆様から心のこもったご支援に心よりお礼申し上げます。	28年4月～12月
	株さとふる	地震に対する措置として、手数料無料、返礼品のいらぬ寄付に切り替え、迅速な対応をしていただく。		
28年12月 定例会	定例会予算	寄付金歳入予算を8000万円追加。総額3億8000万円。返礼品予算1620万円を追加。可決される。		

追跡レポート 4年間の軌跡

- ☆長陽地区保育所統合同問題
 - ・平成27年4月開園
- ☆九州北部豪雨後の防災計画
 - ・防災知識普及、自主防災組織育成、避難収容対策等の見直し
- ☆光ブロードバンド基盤整備事業
 - ・平成27年7月整備完了
 - ・平成27年度各小・中学校に電子黒板等の設置
 - ・公民館での介護予防や予約型乗り合いタクシーにも活用
- ☆統合同新庁舎整備計画
 - ・住民の利便性及び防災指揮拠点としての適正、合併協議会の合意事項、議会の意見、住民アンケート等も考慮し、平成25年12月定例会で河陽新庁舎案を示す
 - ・平成29年3月開庁予定
- ☆矢部阿蘇公園線早期整備について
 - ・この道路が開通すれば、村にとっても新たな観光・防災ルートとして活用が期待できる
- ☆中学校統合同・通学路問題
 - ・平成28年4月南阿蘇中学校開校
- ☆子どもの医療費問題
- ☆国民健康保険の現状
- ☆久木野地区上水道事業二元化問題
 - ・第3回臨時会でボーリングのための予算可決
- ☆機能別消防団員制度について
- ☆空き地の適正管理問題